

## 社会情報学会 「社会情報学」執筆要領

1. 原稿言語は和文とする。

2. 原稿の書式

(1) 原稿は横書きとする。

(2) 和文原稿では、新仮名遣いと常用漢字を用い、平易な口語体で記す。句読点として、  
を用いる。

(3) 和文原稿では、刷り上がりイメージと同様のフォーマット (A4 判, 1 行 22 文字×38 行, 2 段組み, 12 ポイント) にて作成する。

3. 分量

(1) 原著論文, 研究については, 刷り上がり 14 ページ (20000 字程度。ただし図, 表, 注, 参考文献などを含む) 以内とする。

(2) 展望・ノートについては 7 ページ (10000 字程度, ただし図, 表, 注, 参考文献などを含む) 以内とする。

4. 原稿の体裁

投稿原稿のうち, 原著論文, 研究は, 以下の体裁によるものとし, 展望・ノートについては, 以下に準ずるものとする。

(1) 原稿の一枚目には, 原稿のタイトル, 著者氏名, 所属をいずれも日本語と英語で併記し, また, 著者連絡先住所, 電話番号, ファックス番号, 電子メール・アドレスを記す。なお, 原稿の一枚目は分量に含めない。

(2) 原稿の二枚目には, 原稿のタイトル, 要約ならびにキーワードを記述する。要約は原稿全体の内容をレビューしたもので, 日本語 600 字, 英語 250 ワード程度とする。また, キーワードは原稿全体の内容の特徴を表す用語のことであって, 日本語, 英語とも, その数は 5 つ程度とする。なお, 原稿の二枚目は分量に含めない。

(3) 原稿の本文は三枚目から開始し, それを 1

ページとして, 以下通し番号を付す。本文後の謝辞, 注, 参考文献, 付録, 図表をこの順に続ける。なお, 本文において著者が特定できる記述は避ける。

(4) 原稿本文は, 序論 (はじめに, など), 本論, 結論 (結び, など) の順に記述する。本論については, 章, 節, 項の区別を明確にし, それぞれ「1」, 「1. 3」, 「1. 3. 2」のように番号をつける。

(5) 人名は, 原則として原語で表記する。ただし, 広く知られているもの, また印字が困難なものについては, この限りではない。

5. 図・表 (写真も含む)

(1) 図・表には, それぞれについて「図-1」, 「表-1」のように通し番号をつけ, また表題をつける。

(2) 図・表は本文中の該当箇所に埋め込むことが望ましい。

(3) 図・表を本文中に埋め込むのが困難な場合は, 本文中に挿入希望箇所を明記し, 図・表は 1 ページに 1 個ずつ, 挿入指定のあるページ番号を付けて描き, 原稿の最後にまとめる。大きさの指定がある場合にはそれを明記する。

(4) 図・表の作成に使用した資料・文献は必ず明記する。

(5) 図・表は実際に印刷される大きさに配慮した内容・記述にする。

6. 注

注を使用する場合は, 一連番号を参考箇所右肩に小さく (1) (2) と書き, 本文末尾に注釈文をまとめる。

7. 参考文献

(1) 参考文献を適切に引用し, 本研究の位置づ

けを明確にする。参考文献の引用は以下の例にならい、著者の姓、発表年を書く。

例：鈴木（1986）は……，  
伊藤（1986a）によれば……，  
……が証明されている（鈴木・伊藤，1985）。  
Tanaka et al.（1983）は，……。

（2）本文中で参照した文献は，本文末尾に参考文献表としてまとめる。参考文献表は，著者のアルファベット順，年代順に記す。同一著者の同一年代の文献は，引用順に a, b, c……を付して並べる。

例：鈴木一郎（1986a）「社会と情報」、『社会情報』1, pp. 14-23.  
鈴木一郎（1986b）『情報論』社会書房，240p.  
Winston, P.（1981）Social Planning and Information, *Social Information Science*, 6, pp. 116-125.  
Yamada, S. et al.（1986）*Intelligent Building*, Academic Press, New York, 445p.  
山本太郎（1985）「社会情報に関する研究」、『社会情報』2, pp. 32-40.  
山本太郎・鈴木一郎（1985）『社会情報学』社会書房，270p.

（3）インターネット上に置かれた文献は，前各号に準拠すると共に，参考文献の記述は，著者名，発行年，タイトル，URL，訪問日付の順に記述する。なおURLにはハイフネーションを用いない。また，その文献のハードコピーは著者の責任に置いて保管するものとする。

例：鈴木一郎（1996）「社会と情報」，  
<<http://www.abc.ac.jp/Social/abc.html>>  
Accessed 1997, April 29  
Winston, P.（1981）Social Planning,  
<<http://www.abc.edu/Social/abc.html>>

Accessed 1997, April 29

8. その他疑義のある場合は，通常広く認められている書式を使用する。

9. 要領の改正

この要領の改正は，学会誌編集委員会の議を経て，学会誌編集委員長が行う。

付 則

この要領は，2012年4月1日より実施する。

付 則

この要領（改正）は，2014年9月21日より施行する。

付 則

この要領（改正）は，2015年2月20日に遡及して施行する。

付 則

この要領（改正）は，2018年6月15日より施行する。